

標 題 : Prevalence of hyperlipidaemia in adults and its relation to the Mediterranean diet: the Hellenic National Nutrition and Health Survey (HNNHS).

成人における高脂血症のまん延と地中海食事との関連 :
ヘレニック(ギリシャ人の)国民栄養健康調査 (HNNHS)

著 者 : E. Magriplis, et al. (ギリシャ アテネ農業大学 食品科学・ヒト栄養学部)

掲 載 誌 : Eur. J. Prev. Cardiol. 2019 Dec; 26(18): 1957-1967

要 旨 :

目 的 : 長期間の異常な血中脂質プロファイルが、心臓血管系疾患のリスクと高める。地中海食事によって、保護する役割が演じられる可能性がある。

この研究の目的は、脂質異常症のまん延を評価し、血中脂質の状態と治療を評価して、血中脂質、脂質異常症と地中海食事との間の関連を検討することであった。

方 法 : データは、ヘレニック国民栄養健康調査 (HNNHS)由来であった。

データを成人 3775 人(40.8%が男性)から訓練した職員から入手して、疾患の状態を国際疾病分類 (第 10 版) に従って分類した。

血中脂質測定を、サブサンプル(N=1080、平均年齢 40.1 歳、37.8%が男性)から得た。

地中海食事スコアを、24 時間思い出しから計算した。

高い地中海食事スコア(>23)、脂質の値と状況との間の関連を、それぞれ線形化多重線形回帰およびロジスティック回帰で分析した。

結 果 : 全体で、母集団の 20.7%が脂質異常症で、59.0%(性差なし)が治療を受け、治療したうちの 46.6%は正常な脂質プロファイルとなった。

脂質状況の認識は 35.5%であった (64.5%は無認識)。

19-39 歳の男性は、女性よりも高い総コレステロール、LDL コレステロールおよびトリグリセリド、そして低い HDL コレステロールの値であった(mg/dl で; 全て $p<0.05$) ; 全ての年齢群の過体重および肥満の人々でこれらの値は有意に高く、例外は HDL コレステロールであった (全て $p<0.001$)。

高い地中海食事スコアは有意に低い LDL コレステロールと、まとめたサンプル(-6.39mg/dl ; 95%信頼区間(CI): -12.60, 0.17)、男性全体(-10.61mg/dl ; 95%CI: -19.89, -1.34)および過体重と肥満の男性(-15.6mg/dl ; 95%CI: -29.25, -1.94)で関連した。

結 論： 無認識で未治療の若くて多くが男性の人々における異常な脂質プロファイルを、この研究は強調する。

キーワード： 高脂血症、地中海食事、危険因子
